

自立相談支援事業 支援好事例（架空）

場所	沼津市自立相談支援センター		
性別	男	年齢	50歳
支援期間	5 か月		
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・母親の在宅介護を理由に退職、主な生活費は母親の年金。 ・前職場での暴力行為が自身のトラウマとして残る。 ・障がいの可能性があるが、手帳、年金申請歴は無い。 ・母親が救急搬送され、入院となる。若干の貯金はある。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援 ・障害年金、療育手帳の取得申請 ・就労適正、スキルの認識向上 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対して本人の承認のもと、療育手帳取得、障がい年金受給のため、病院同行及び各種申請支援を行う。 ・本人の希望による一般就労支援と並行して、就労継続支援B型事業所での就労など福祉的就労に対する理解を求める。 ・単身世帯での生活に向け収支計画をたてる。 		
結果・改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・母親の年金で利用可能な老人介護施設への入所が決まる。 ・療育手帳の取得、障がい年金受領が決定する。 ・障がい者枠での一般企業への就職が決定する。 ・自己理解により、就労収入と年金収入での経済基盤を築く事ができ、同時に母親の介護の心配なく生活できるようになった。 		